9B 日本国特許庁(JP)

10 特許出願公開

@ 公 開 特 許 公 報 (A)

昭63-221738

®Int Cl.⁴	識別記号	厅内整理番号		❸公開	昭和63年(1	988)9月14日
H 04 L 11/20 G 06 K 9/03	101	C - 7830 - 5K Z - 6942 - 5B				
H 04 N 1/00	104	Z - 7334-5C A - 7334-5C				
1/387	10,	8420-5C	審査請求	未請求	発明の数 1	(全4頁)

49発明の名称

フアクシミリ蓄積交換システムの光学文学認識処理方式

②特 顧 昭62-55972

❷出 願 昭62(1987)3月11日

洋 一

東京都日野市旭が丘3丁目1番地の1 株式会社東芝日野

工場内

愈出願人 株式会社東芝

20代 理 人 弁理士 木村 高久

明 福 宝

1. 発射の名称

ファクシミリ 蓄積交換システムの光学文字器 農処理方式

2、特許辞求の範囲

ファクシミリ銭理から伝送されてきたイメー フ曽報を光学文字認識処理することによりパター ン博報に関係し、このパターン特権を記載装置に 警局するようにした蓄積交換装置を備えたファク シミリ蓄積交換システムの光学文字疎楽処理方式 において、

的記ィメージ情報および前記パターン質報を外部ワークステーションに送受するためのインタフェース手段を設け、如記外部ワークステーションにおいて選イメージ質報および数パターン情報を 比較することにより数パターン領報を修正するようにしたことを特徴とするファクシミリ茶質交換 システムの光学文字監数処理方式。

3、鬼明の詳和な説明

(鬼明の目的)

神奈川県川崎市幸区堀川町72番地

(産業上の利用分野)

本見明は、ファクシミリ苗様交換システムの 光学文字語談処理方式に関する。

(世里の後編)

関知のように、ファクシミリ数額交換システムにおいては、イメージ情報(例えばOCR係品をファクシミリ装置から有線を通じて素面交換扱製に伝送し、この移袖交換装置における光学文字は洗装置(以下OCRと称す)によってイメージ情報を設定してパターン情報を設定しておいる。

特開昭63-221738(2)

装置の周辺の状況および事所等によって限定される禁蓄検交換装置の能力ではバターン情報の様正が節に合わないようなことがあった。また、パターン情報のほどを新研交換弦器の周辺で行っていたので、蓄積交換弦器の高に見所、例えばファクシミリ接置器で自らイメージ情報とバターン情報を依正するようなできなかった。

(発明が解決しようとする問題点)

このように従来のファクシミリ器研交換装置 では、ファクシミリ装置から蓄積交換装置に多場 のイメーツ質根が伝送されてきた場合にはパター ン質報の様正が間に合わなかったり、また蓄積交 後を誰の筒式でしかパターン管理を修正すること ができないという問題点があった。

そこで、本理明はパターン価値の祭正を場所を 限定せずに効率及く行うことが可能なファクシミ リ基稿交換システムの光学文字器数処理方式を提供することを目的とする。

[発明の構成]

図面は木発明に係る光学文字深識処理方式を再 用したファクシミリ 香稿交換システムの一実施例 を示すプロック図である。この実施例におけるを 及交換设置1には、各電話図録2を過じて各ファ クシミリ装置3 - 1~3 - n が交換接続されると ともに、各項信回線4を通じて各ワ~クステーシ ョン5 - 1~5 - m が接続されている。

本元明は、ファクシミリ名置から伝送されてさたイメージ情報を光学文字程度処理することによりバターン情報に変換し、このバターン情報を記憶変別に寄植するようにした香様交換装置を購入たファクシミリ 移植交換システムの光学文字認識が 起力式において、前記イメージ情報をよび的記パターン領報を外部ワークステーションに送受する

(問題点を解決するための手段)

クステーションにおいて放イメージ情報および繋 パターン情報を比較することにより繋パターン情報を依正するようにしたことを特徴とする。

ためのインタフェース手段を設け、背配外部ワー

(作的)

本見明によれば、蓄積交換容費から離れた場所にワークステーションを設置し、このヴークステーションを設置し、このヴークステーションでパターン情報を搭正することができる。

(実施例)

以下、本現物の実施例を減付図版を参照して 詳細に設明する。

質性を光学的に温波して観名イメージ問程に対応 する名パターン質性を形成し、これらのパターン 質性をCPU8に伝達する。CPU8はこれらの パターン質性を観気ディスク部9に蓄積させる。

本に、CPU8は個気ディスクありから名べた 一とは、CPU8は個気ディスクありから名と、 では、は、CPU8は個気が、ないでする。 では、CPU数は、CPUのでは、 では、CPU数は、CPUのでは、CP

このとき、例えばワークステーション5-mに 分配されたパターン質量および数パターン情報に 対応するイメージ質質は、酸ワークステーション5-mにおける1/Oインターフェース回路12 を介して中央処理保留(以下CPUと称す)13

特開昭63-221738 (3)

に伝達される。CPU13はパターン質報および 数パターン質値に対応するイメーク質 枢を表示数 閏14に表示させる。ここで、表示義取14に表 示されたパクーン債権および放パターン質権に対 **応するイメージ的確を比較し、例えば図示しない** コンソールを操作してパターン質報を庭正する。 ただし、この底正はOCR10によるイメージ質 性の認識にエラーがある明合に行うものである。 CPU13はパターン保証の仮正が終了すると、 修正されたパターン物報および鉄パターン情報に 対応するイメージ質解を記憶表置15に記憶させ るとともに、これらの有限を1/0インタフェー ス回路!2から通信回収4を通じて要領交換祭習 1人伝送する。そして、これらの情報はワークス テーション用インターフェース回路11を介して CPUBに伝達される。CPU8は単正されたパ ターン賃借および旅パターン賃貸に対応するイメ ージ角骨を破気ディスク部9に呑痕させる。

関係に、他の各ワークステーション5 - 1. 5 - 2. ……によってパターン領権の区正が行わ れ、他正されたパターン領報および終パターン領報に対応するイメージ領報が蓄積交換装置1に伝送されて組織ディスク部9に番組される。

したがって、パターン領領の窓正を蓄積交換装置 1 からばれた各ワークステーション 5 ー 1 ~ 5 ー mで行うことができ、各ファクシミリ 複数 3 ー 1 ~ 3 ー n から多品のイメージ係根が蓄積交換装置 1 に伝送されてきても、これに対処することができる。

パターン情報の修正をより正確に行うことができ ふ

(発明の効果)

以上説明したように本発明によれば、、 B 植交換 数型から離れた場所にワークステーションを 設置し、このワークステーションでパターン 債 役を 返正することができるため、パターン 質報の 修正 を 場所 を 制定 せずに 効 本良く 行うこと が 可 儀 なファクシミリ 番 石 交換システムの 光学文字 認識 処理方式を 提供することができる。

4、 図画の簡単な説明

図面は本作明に係る光学文字 標準処理方式を 適用したファクシミリ 帯積交換システムの一実施 例を示サアロック菌である。

1 … 普角交換装置、 2 … 電話回線、 3 - 1 ~ 3 - n … ファクシミリ 長雲、 4 … 通信回報、 5 - 1 ~ 5 - m … ワークステーション、 8 … 交換機、 7 … 通信制御部、 8 … 中央発電装置、 9 … 組 気ディスク部、 1 0 … 光学文字型路装置、 1 1 … ワークステーション用インタフェース回路、 1 2

… | / O インタフェース 回路、 1 3 … 中央処理祭 駅、 1 4 … 表示装置、 1 5 … 記憶装取

代理人弁理士 木 村 嘉 久



特別昭63-221738(4)

